

info
08

HPV（子宮頸がん）ワクチン接種を自費で受けた人への助成

国の方針により、子宮頸がんワクチンの積極的接種の勧奨が控えられていた時期に、定期接種*の機会を逃し、のちに自費で接種を受けた人に対し、市ではその費用を助成します。

※HPVワクチンの定期接種の期間は、小学6年生から高校1年生に相当する女性です

■助成対象 4月1日時点で市に住所がある方で、平成9年4月2日から平成17年4月1日までに生まれ、HPVワクチン接種を自費で受けた方

- 必要書類
- (1) 接種記録が確認できる書類（母子健康手帳や予診票）
 - (2) 接種費用の支払いを証明する領収書
 - (3) 補助金交付申請書（子ども未来課の窓口でお配りしているほか、市ホームページからダウンロードできます）
 - (4) 助成金の振込先の通帳またはカード



※(1)・(2)を紛失した方は右記へご相談ください。 問 子ども未来課子ども・子育て応援班 (☎55-8275)

info
09

宝くじの助成金で整備しました

一般財団法人自治総合センターの宝くじ助成金を活用して、小野地域づくり協議会が活動備品を整備しました。整備した備品は地域の広場などの手入れやイベントに活用されます。



この事業は宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源に実施しているコミュニティ助成事業です。

問 まちづくり協働課まちづくり班 (☎55-8249)

いのちをつなぐ ゆざわ通信

過度な自粛に注意

新型コロナウイルス感染症の流行当初は、さまざまな自粛が求められました。しかし、自粛生活の長期化（社会参加の減少など）により、「うつ」などのリスクが高まること分かっています。

◆ 趣味（自宅外）の活動の減少 うつのリスク・・・	1・3 4倍
◆ スポーツ活動への参加の減少 要支援・要介護のリスク・・・ うつのリスク・・・	1・4 6倍 1・3 7倍
◆ 友人・知人との対面の減少 要支援・要介護のリスク・・・ うつのリスク・・・	1・4 5倍 1・2 9倍

出典 日本老年学的評価研究機構（JAGES）調査

感染対策をしながら、趣味やスポーツ、町内会・ボランティア・老人クラブなどの活動を積極的に行いましょう。

問 健康対策課健康企画班 (☎73・2124)